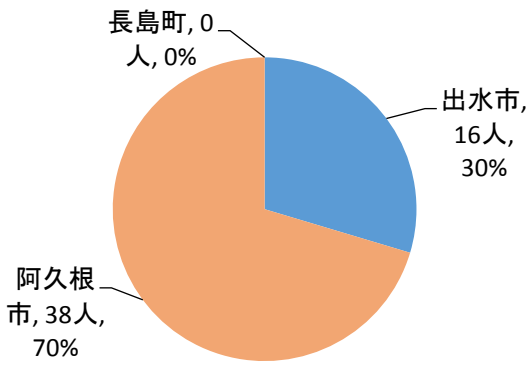


平成29年度 出水地区在宅医療・介護連携推進に係る多職種交流研修会

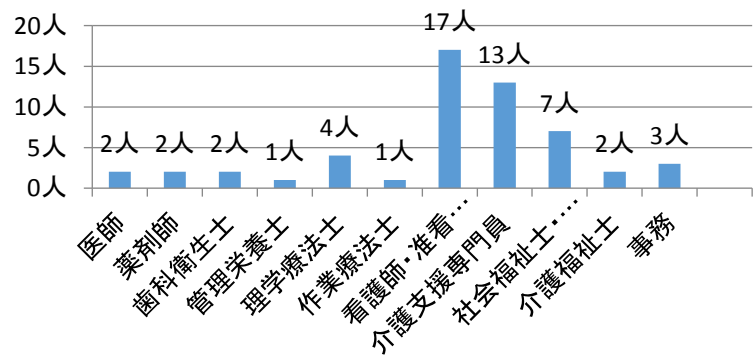
9月28日(木) 阿久根市老人福祉センター

参加人数 79名(研修広報班17名含む) アンケート回答 54名 回答率 87.0%

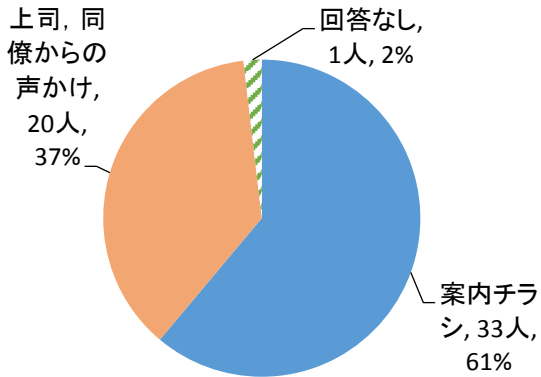
1-① 勤務地



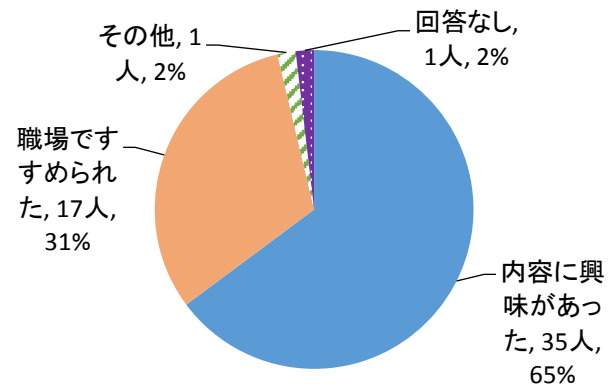
1-② 職種n54



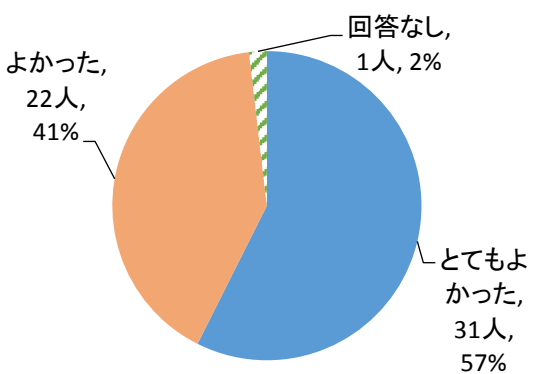
2-① 知ったきっかけ



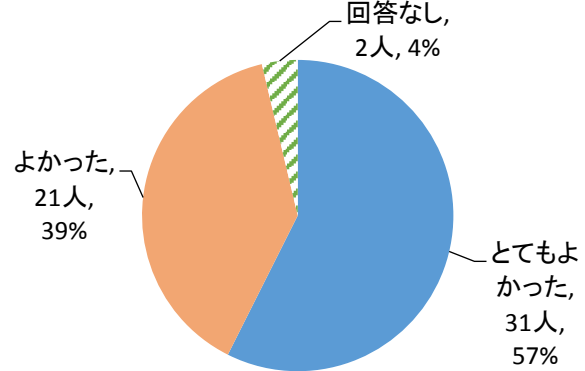
2-② 参加動機



3-① グループワーク



3-② ワールドカフェ



3-③ 研修会についての意見

- ・色々な職種の方と意見交換できて勉強になった。(他7件)
- ・多職種の方と楽しく交流ができてよかった。(他4件)
- ・各専門職の視点の違いを改めて感じ、視点を広げられた。
- ・多職種との交流の必要性を感じた。
- ・入院から在宅連携(退院支援)がとても重要と感じた。(他1件)
- ・職種を問わず和やかな雰囲気での研修できた。ワールドカフェもとても良いと思います。
- ・時間配分もちょうど良かったと思います。
- ・他職種の方々の関わりで学ぶことが多く視点を広げられた。
- ・1人では思いつかないことなど色々な職種の方などの意見が参考になった。
- ・早めに退院後につなげられるよう情報提供が必要と感じた。
- ・初めての参加で最初は不安とどうやって取り組んでいいのかわからなかったが、グループの協力が得られ交流が図れてとても良かった。
- ・これからも多職種との情報交換を行いながら支援していこうと思った。
- ・ファシリテーターが遠慮せずに済む分のアドバンテージがあったら。
- ・要領や話し合う内容等わかりづらく戸惑った。会次第に具体的に記載してほしい。
- ・KJ法をするためのテーマの説明が分かりにくかった。
- ・2事例だと別の班の内容がわからなかったので1事例がよい。他のグループの意見も聞けると思う。(他2件)
- ・時間のペースが早かった。まとめの時間がもう少しほしい。(他2件)
- ・全グループの発表が聞けると良かった。
- ・開始時間をもう少し早くしてほしい。
- ・仕事終わりでなく日中でもいいのではないかな。

4. 在宅医療・介護連携推進のために取り組んでいることや日頃感じている課題等

- ・できるだけスタッフに研修会に参加してもらう。
- ・他業種の方々との交流の場になるべく出席しようと思います。
- ・常日頃から介護との連携を図るよう心がけているが、もう少し努めていかないと思いました。
- ・連携はとても重要、今後もチームで取り組んでいきたい
- ・退院カンファレンスを通して患者さんが自宅に帰るために必要なことを考えています。
- ・家屋調査、調整カンファレンス
- ・入院中から患者さんの不安の聞き取りをもっと行えるようにしたい。
- ・通所内における自立支援の為のリハビリ
- ・病院から在宅へ充分に関わる時間がない。スクリーニングシートを活用しての在宅復帰
- ・情報を病院から在宅につなげるための方法について
- ・病院と自宅での温度差を感じた。顔の見える連携(情報共有)が必要(他2件)
- ・在宅への受け入れが困難な場合が多くなっていると感じている。
- ・他職種連携が大切とは感じますが、なかなかできていないジレンマがあります。
患者さんひとりひとりにもう少しかかわってよりよい在宅医療を提供していけたらと思います。
- ・本人の尊厳を保つために自己決定、自立支援等苦慮することがあります。
- ・かかりつけ医から急性期病院へのスピーディーな流れをお願いしたい。

5. 在宅医療・介護推進のための具体的な要望

【住民向け講演会】

- ・在宅医療について
- ・認知症予防支援
- ・具体的な介護方法
- ・予防医学、サルコペニア
- ・介護、福祉サービスの周知

【医療・介護職への研修会】

- ・ケーススタディ
- ・在宅支援に向けた連携

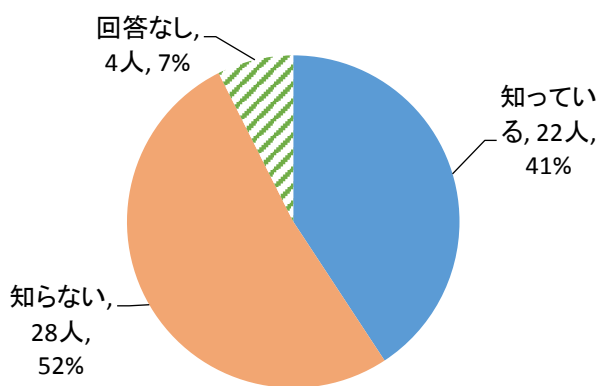
【その他】

- ・セルフケア

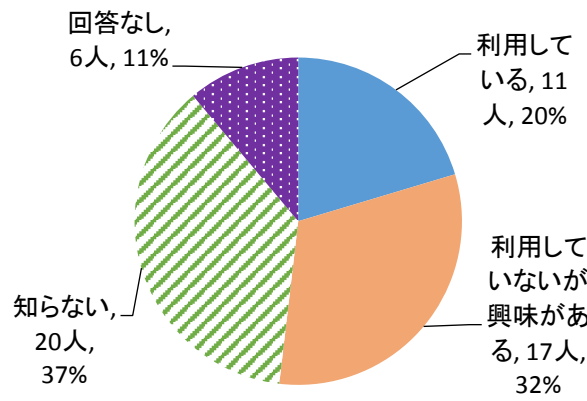
7. 資源マップに追加してほしい内容

- ・特殊な外来の案内
- ・INAネット登録
- ・レスパイト入院受け入れ可能な病院

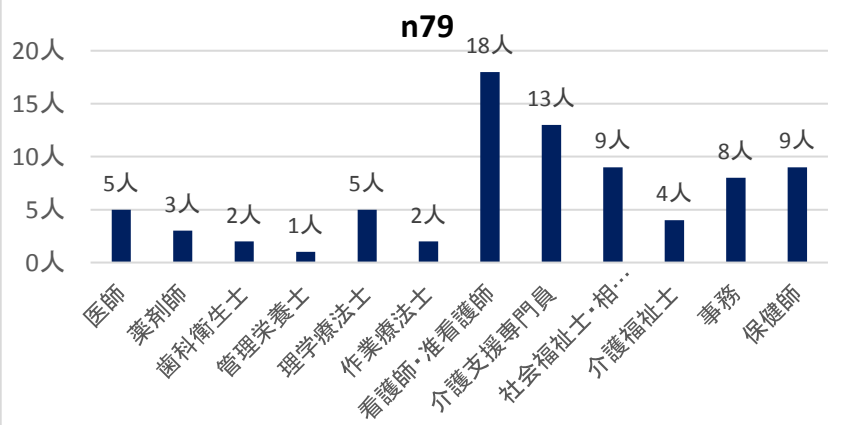
6. 資源マップの掲載を知っていますか？



8. MCS:INAサポートラインについて



阿久根市多職種交流研修会 職種別出席数



考察

- ・多職種でのグループワークが盛り上がり顔の見える関係作りができた。
- ・開催3回目で参加職種の偏り(地元の医師の参加は1名)があった。
- ・参加人数が増え、急遽開催場所を変更したことが原因か分からないが、当日16名の欠席となった。
- ・まとめの時間配分が不足したという意見が聞かれた。(25分・20分・15分)
- ・グループ補助の班員の役割が中途半端な説明で(班の中に入る人、遠目で見守る人等)困った。
- ・該当事例の内容提供しがなく、違うグループワークの発表を聞いても分からなかった。